



シンポジウム 沖縄の自然のこと～海・陸・人の関わり

日時：2014年5月31日(土) 13:00～17:30 参加費：無料

会場：沖縄県立博物館・美術館 講座室(沖縄県那覇市おもろまち3-1-1)

自然は沖縄の宝物。

でも、イリオモテヤマネコや
ノグチゲラやサンゴについて
ときおり心配な話も聞こえています。

今、沖縄の自然はどうなっているのでしょうか？

今回は陸や海の生態系の専門家から、
沖縄の自然がどうなっているのか話を聞く機会を設けます。

そして、サンゴ礁と人との関わりや、

自然を守るしくみ作りの取り組み例として、大浦湾チリビシの
アオサンゴ群集のお話もご紹介します。
沖縄の自然のことをもっと知りたい方、
自然を守るにはどうしたらよいか
一緒に考えてくださる方、
ご参加お待ちしております。



プログラム

- あいさつ：小橋川共男（水中写真家）
- 基調講演（各40分）
 - 「ヤマネコのすむ沖縄の森」
伊澤雅子（琉球大学）
 - 「サンゴ礁における自給的資源利用」
渡久地健（琉球大学）
- 話題提供（各30分）：
 - 「サンゴ礁はどう守られるべきか？～多様性
保全に必要なこと～」
中野義勝（琉球大学/
沖縄県サンゴ礁保全推進協議会）
 - 「自然を守る制度に挑戦～大浦湾のアオサンゴ
群集保全への取り組み」
安部真理子（日本自然保護協会）
- パネルディスカッション：
 - 浦島悦子（フリーライター）
 - 東恩納琢磨（エコツアー/名護市議）
 - 登壇者のみなさま

★問い合わせ・参加申し込み：abe@nacsj.or.jp（安部） 電話：03-3553-4103,080-5067-0957

共催：日本自然保護協会、沖縄・生物多様性市民ネットワーク

後援：沖縄県サンゴ礁保全推進協議会、環境省那覇自然環境事務所（予定）、
IUCN-J、日本サンゴ礁学会保全委員会

湿地のグリーンウェイブの一環です